



生活協同組合おおさかパルコープ ■ 組合員総数：446,719人 ■ 出資金：201億9,294万円（7月20日現在）



メモを取りながら視聴する小松さん



城東組合員会館で15人くらいで視聴する予定だった「ピースアクション2020 in ヒロシマ」。委員さんみんなで集まっていたりくみは叶いませんでしたが、委員さんの中にご自宅で視聴される方がいるとのことで取材にうかがいました。

当日は、枚方地域でもそれぞれ視聴されていました。感想をお寄せいただきましたので、ぜひこちらをご覧ください。（2ページへ）

ピースアクション2020 in ヒロシマ オンライン開催 視聴

8月5日 城東北地域活動委員会(大阪市)

視聴したプログラムは「被爆体験伝承講話」。視聴された城東北地域活動委員会の小松さんは、「原爆のことは勉強したり展示を見たりはするけれど、被ばく者の方のお話を聞く機会はあまりない。この伝承者の方のように、後世に伝える活動はとても大切だと改めて考えさせられました。今回オンラインで視聴することができて良かった。自分も戦争を知らない世代だけど、自分の子どもたちや身近な人たちから話し合う機会を持つことができたいと思いました。

新型コロナウイルスの影響で、今回はこのような形になったけど、7月に委員で集まって話し合ったことや準備したこと、一般の組合員さんにもニュースで呼びかけるなど、何とかできることをしてきた。『今は活動って何もしてないでしょ』と言われたこともあるけど、『できる限りやってるんだよ』って言いたいですね



事前に配布した委員会ニュース



岩手からの復興だより 29

これからも被災地に寄り添って

2013年に陸前高田に移住し、民泊事業、移住定住促進、郷土芸能活性化、空き家対策など色んな仕事を並行してやってきました。人口が少ないからこそ一人一人に横断的に役割があり、それは季節ごとに生業を変える昔ながらの山村の暮らしのようで心地よいものです。大変ですけどね。

今は空き家対策に特に注力しています。空き家の管理、遺品整理、空き家バンクなど。

空き家は被災地だけの問題ではないので復興の文脈で語られることはあまりありません。ただ、思うのは、大事なモノをなくしたこのまちだからこそ、残ったモノを大切にしたいということ。空き家の保全と活用を通して、昔のこのまちの記憶がこれからの新しい高田をフワッと包むような、そんな姿になっていったら嬉しいです。

陸前高田市

NPO法人 ^{たかたくらししゃ} 高田 暮舎
副理事長 ^{こえと ひろたか} 越戸 浩貴さん

